

# 道徳で何を 教えようとしているのか？



## 小学校「道徳」教科書の 検定結果と問題点

お話

吉田典裕さん

出版労連 教科書対策部事務局長

全国の小中学校教員の7割以上が「道徳の教科化」に反対しているといいます。<sup>\*</sup>それでも安倍政権は2018年度から、小学校での道徳教科化を強行しようとしています（中学校は2019年度から）。

大阪の森友学園での「教育勅語」の強制が問題となる中、国が“道徳心”を子どもたちに教え込もうとする動きには警戒せざるをえません。



この夏には各地域で小学校の道徳教科書が採択されることになっています。

いったいその教科書の内容はどのようなものなのか？

4月に公開される道徳教科書の検定結果から見える、道徳教科化の真の狙いと問題点を一緒に考えてみましょう。

※北海道教育大・愛知教育大・東京学芸大・大阪教育大による「教員の仕事と意識に関する調査」から。2015年8～9月実施。全国の公立小中高校の教員を対象に教育改革に対する賛否などを問い、5373人（有効回収率55・3%）から回答を得た。道徳の教科化に「反対」「どちらかといえば反対」と答えたのは小78.9%、中75.9%、高56.3%に達した。

2017年 4月15日(土)

午後1時30分～4時半(予定)

さいたま市民会館うらわ  
1階集会室(101)

資料代：500円

